

MITSUBISHI

三菱データプロジェクター

形名

LVP-SD206

取扱説明書

DATA
PROJECTOR



はじめに

映像を見る

設定・調整する

その他

このたびは三菱データプロジェクターをお買い上げいただきありがとうございました。

ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要なときお読みください。

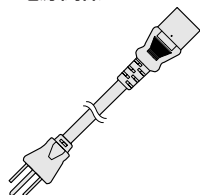
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

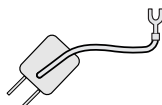
付属品を確認する・リモコンに乾電池を入れる

付属品を確認する (このプロジェクターには次の付属品があります。そろっているかどうか確認してください。)

■ 電源関係

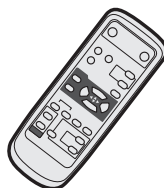


電源コード

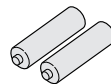


変換アダプタ

■ リモコン関係

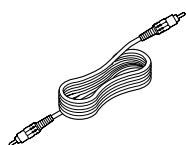


リモコン

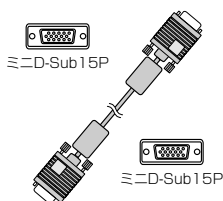


単三乾電池(2本)

■ 映像関係



VIDEOケーブル



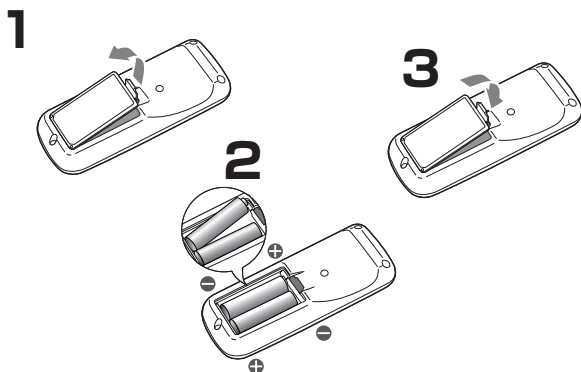
RGB信号ケーブル

■ その他

- ・ レンズキャップ
- ・ 取扱説明書/クイックスタートアップ
- ・ 保証書
- ・ 三菱DIAMOND VIEW CLUBご案内
- ・ ソフトキャリングケース

- 付属の電源コード、変換アダプタは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

リモコンに乾電池を入れる



1 リモコン裏面のフタをはずす

2 乾電池の(+)、(-)をよく確かめて、(-)側から正しく入れる

- 乾電池を(+)側から入れると、(-)側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れ、ショートして発熱する恐れがあります。

3 裏面のフタを付ける

- 乾電池は、単三乾電池(AA、R6)を2本お使いください。
- リモコンを使用できる距離が短くなってきたら、2本とも新しい乾電池に交換してください。

⚠ 注意

- 電池は、7ページに記載している「乾電池の取り扱いについて」を良く読んで、正しくお使いください。使用を誤ると液もれや発熱、破裂により、火災やけが、周囲の汚損の原因となることがあります(電池に表示されている注意事項もお読みください)。
- このプロジェクターはプラグ接続機器です。機器の近傍にコンセントがあり、かつそのコンセントには、容易にアクセスできなければなりません。
- 本機には付属の電源コードをご使用ください。付属以外の電源コードを使用すると、ラジオやテレビの放送電波障害の原因となることがあります。
- J55022 クラス B装置の規制範囲内に干渉を抑えるため、付属のRGB信号ケーブルをご使用ください。
- 本機は必ず接地してください。

もくじ

はじめに	安全のために必ずお守りください	4~7
	各部のなまえ	8,9
	本体のなまえ	8,9
	リモコンのなまえ	9
	リモコンの使いかた	10
映像を見る	コンピュータの映像を見る	11~15
	A. コンピュータと接続する	11
	B. 電源コードを差込む	12
	C. 投写する	12~15
	プレゼンテーションを演出する	16
	リモコンをコンピュータのページアップ・ダウンキーとして使う (ページアップ・ダウン)	16
	映像と音声を一時的に消す(AVミュート)	16
ビデオ機器の映像を見る	17~19	
A. ビデオ機器と接続する	17	
B. 電源コードを差込む	18	
C. 投写する	18,19	
設定・調整する	メニューを使って設定する	20~23
	メニュー遷移図	20
	メニュー設定のしかた	21
	メニューで設定できること	21~23
	映像を調整する	24,25
	映像の明るさを調整する(コントラスト、ブライト)	24
	白の色合いを調整する(色温度の詳細設定)	24
	色を調整する(色の濃さ、色合い)	24
映像をくっきりさせたり、ソフトにする(シャープネス)	24	
コンピュータ映像の調整	25	
その他	パスワードを設定する	26
	設置工事を依頼するときは・お掃除のしかた	27
	光源ランプを交換する	28,29
	故障かなと思ったら	30,31
	索引	32
	端子について	32
	仕様	33,34
	別売品	33
	接続できる信号の種類	34
	保証とアフターサービス	35
インジケータの見かた	裏表紙	

はじめに

映像を見る

設定・調整する

その他

もくじ
付属品を確認する
リモコンに乾電池を入れる

著作権について

- 本書に記載のメーカー名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- アスペクト比の切り換えについて
 - ・ 本機はアスペクト比切り換え機能(19ページ)を備えていますが、入力信号と異なるアスペクト比を選択されますと、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、元の入力信号と同じアスペクト比でご覧ください。
 - ・ 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、店内外、ホテルなどにおいて、アスペクト比切り換え(16:9)を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---	---	-------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

 絶対に行わないでください	 絶対に分解・修理はしないでください	 絶対に触れないでください	 絶対に水にぬらさないでください
 絶対にぬれた手で触れないでください	 絶対に水場では使用しないでください	 必ず指示に従い、行ってください	 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください

警告

故障したまま使用しない

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。



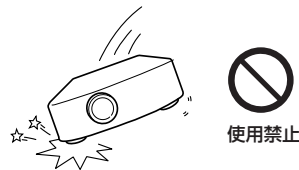
プラグを抜く

煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!



異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

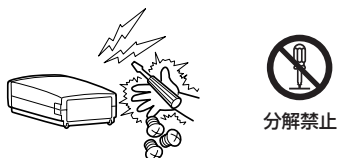
落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない



火災や感電の原因となります。

次のようなことはしない

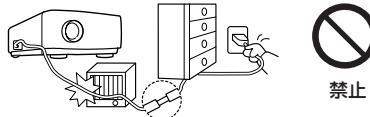
キャビネットをはずしたり、改造しない



内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

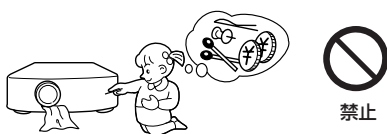
電源コードを傷つけない

- 重いものをのせない
- 無理に曲げない
- じゅうたんなどの下にひかない
- 引っ張らない
- 加熱しない
- ねじらない
- 加工しない



コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

内部に異物を入れない



金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。

花瓶やコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない

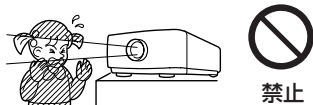


内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

警告

次のようなことはしない(つづき)

レンズをのぞかない



光源ランプの点灯中は、レンズをのぞかないでください。強い光によって視力障害などのけがの原因となります。

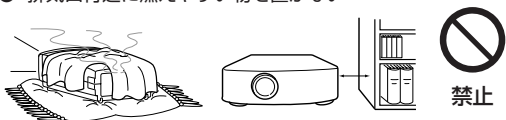
使用した直後、光源ランプの交換はしない

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので、交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。



吸気口、排気口をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない (壁から50cm以上離す)
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 排気口付近に燃えやすい物を置かない



吸気口や排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

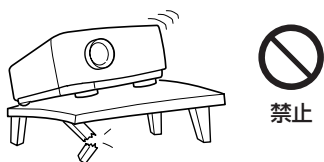


感電の原因となります。



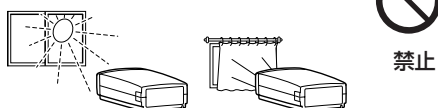
次のような場所に置かない

不安定な場所には置かない



(特に上下逆さまに置いた状態で)ぐらついた台の上や、傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

直射日光の当たる場所に置かない レンズを太陽に向けたり、レンズの直前に物を置かない



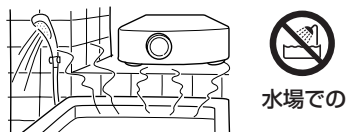
火災や故障の原因となります。

ソファ、椅子などの上に置かない



吸気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

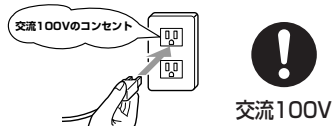
風呂場では使わない



火災や感電の原因となります。

その他

正しい電源電圧で使う



交流100V以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

可燃性の溶剤(ベンジンやシンナーなど)やスプレーを近くで使用しない。



ランプを点灯すると製品内部は非常に高温になるため、引火し、火災や故障の原因となることがあります。

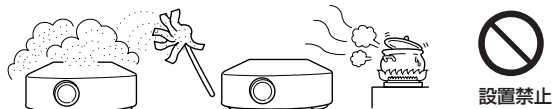
安全のために必ずお守りください(つづき)

⚠ 注意

次のような場所には置かない

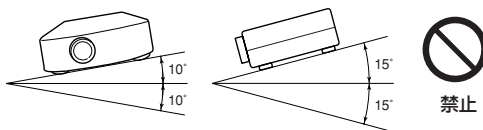
設置時は、次のような場所には置かない

- 押し入れや本棚など、風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など、高温になる場所
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所
- 熱器具の近く
- 直射日光の当たる場所
- 火災報知器の近く
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 振動や衝撃が加わる場所



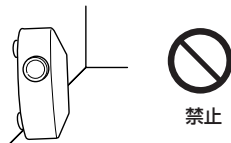
設置禁止

傾けた状態で動作させない



傾けた状態で動作させるとランプの故障や破裂の原因となります。左右方向に対して±10°、前後方向に対して±15°を越えて傾けた状態で動作させないでください。

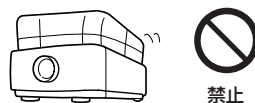
立てた状態で置かない



禁止

倒れて、けがや故障の原因となります。

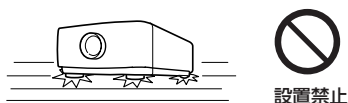
重いものを置かない、踏み台にしない



禁止

本体がこわれることがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

ワックスのかかった床に直接置かない



設置禁止

床上のワックス、洗剤、溶剤により、床材とプロジェクター底面脚部分の密着性が上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

電源コード・プラグについて

接続したまま移動させない



禁止

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。

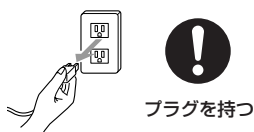
電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する



ほこりを取る

ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

電源プラグを持って抜く



プラグを持つ

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない


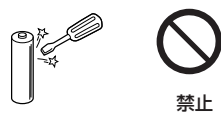

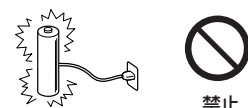


ぬれ手禁止


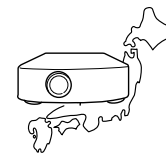
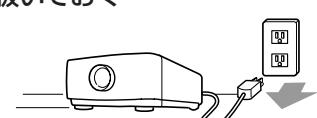
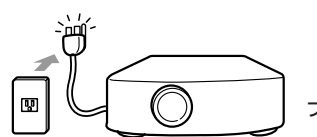
感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

乾電池の取り扱いについて

<p>新しい乾電池と古い乾電池や、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。</p>  <p>禁止</p>	<p>分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない。</p>  <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 乾電池は、(－)側から入れてください。乾電池を(＋)側から入れると、(－)側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れて、ショートして発熱する恐れがあります。 ● 使いきった乾電池は、すぐに取り出してください。 ● 乾電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。 ● 使用済みの電池は、地域の破棄ルールに従って破棄してください。 ● 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師に相談してください。
<p>プラス(+)とマイナス(-)の向きを正しく入れる。</p>  <p>正しく入れる</p>	<p>乾電池を充電しない。充電式の電池は使用しない。</p>  <p>禁止</p>	

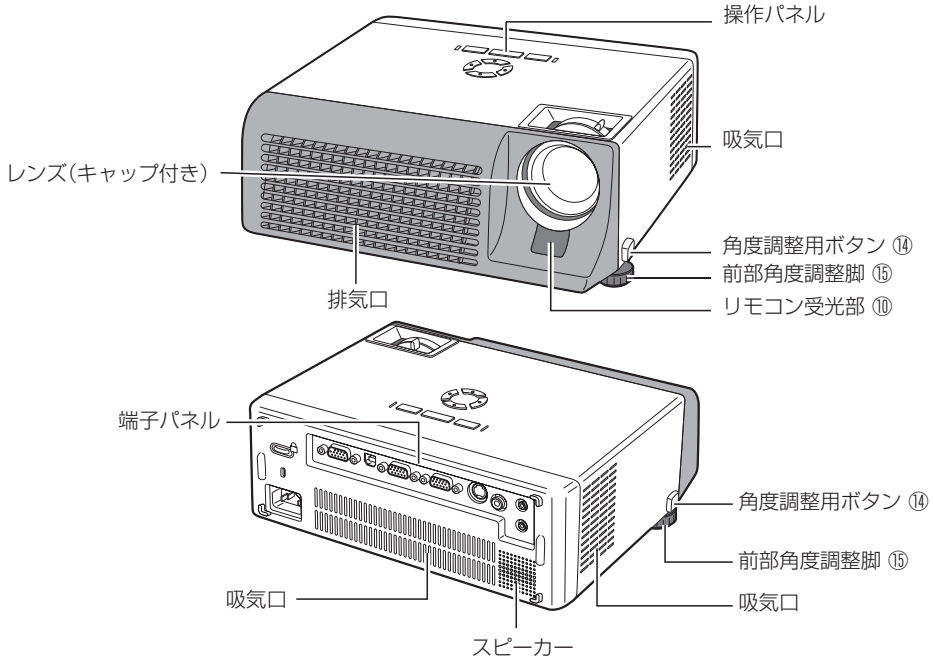
その他

<p>1年に一度は内部の掃除を依頼する</p>  <p>内部掃除</p> <p>三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。ほこり、油煙、けむり等により内部に汚れが付着したまま長い間掃除をしないと、火災や故障および、光学部品の汚れによる輝度劣化の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。</p>	<p>このデータプロジェクターは日本国内専用です</p> <p>電源電圧の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。</p>  <p>日本専用</p> <p>This Data projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.</p>
<p>ご使用が終わったときは、電源プラグをコンセントから抜いておく</p>  <p>プラグを抜く</p> <p>電源ボタンで電源を切り、光源ランプを消灯したスタンバイ(待機状態)にします。約1分間待ったあと、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。スタンバイにして約1分間待つのは、光源ランプを冷やすために吸、排気ファンが回っているからです。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。</p>	<p>お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う</p>  <p>プラグを抜く</p> <p>安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。</p>
<p>製品使用中は排気口をのぞき込まない</p> <p>排気口から温風、ゴミなどが吹き出すため、目をいためることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>排気口、底板は熱くなりますので触れないこと</p> <p>やけどや他の機器への損害を与える原因となりますので、さわったり、排気口の近くに他の機器を設置したりしないでください。また、熱に弱い机の上などに置かないでください。</p> <p>接触禁止</p>
<p>海拔1500m以上での使用は避ける</p> <p>海拔1500m以上での使用は、製品の寿命に影響する恐れがあります。</p> <p>注意</p>	

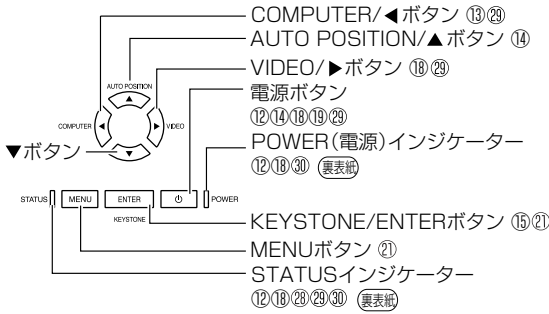
各部のなまえ

本体のなまえ (○は参照ページ)

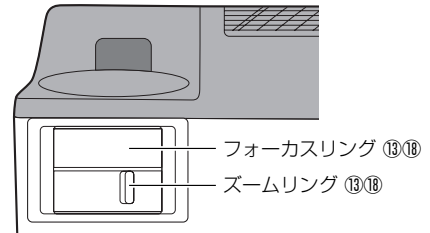
本体



操作パネル(天面)

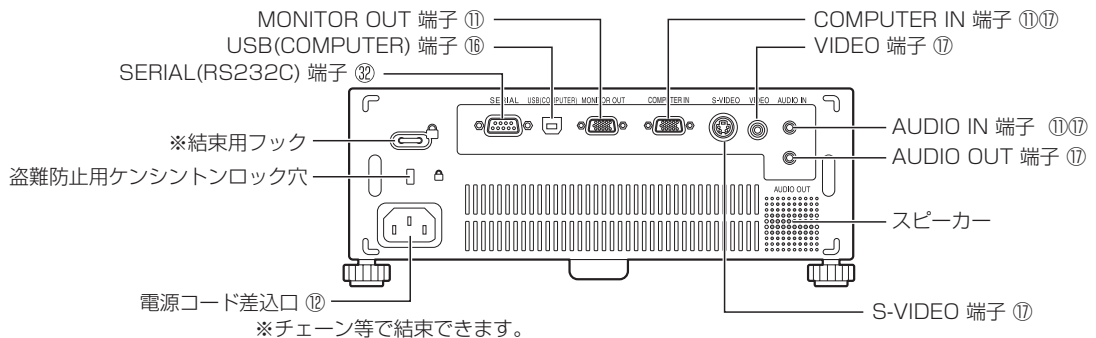


レンズ側

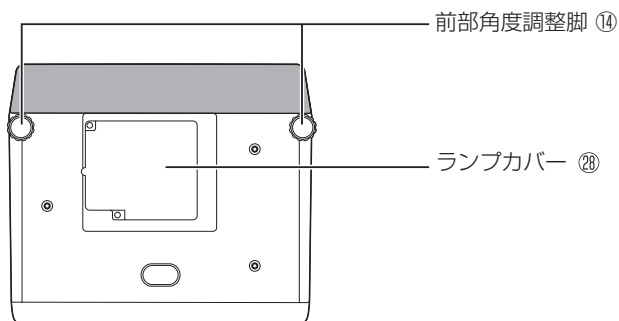


● COMPUTER、VIDEO、AUTO POSITIONボタンは、メニュー表示中、台形補正表示中、パスワード入力中にはそれぞれ、◀、▶、▲ボタンとしてはたります。

端子パネル部



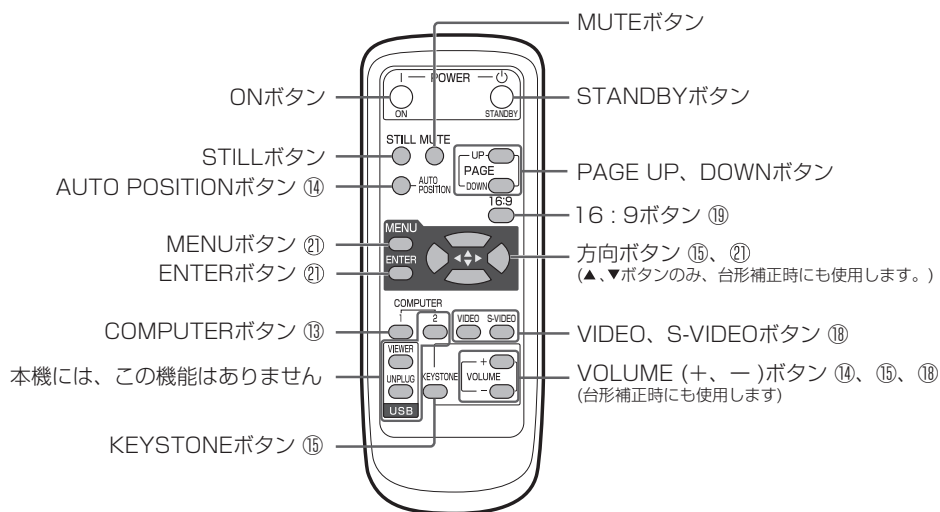
底面部



⚠ 注意

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。

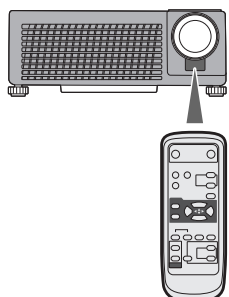
リモコンのなまえ (○は参照ページ)



リモコンの使いかた

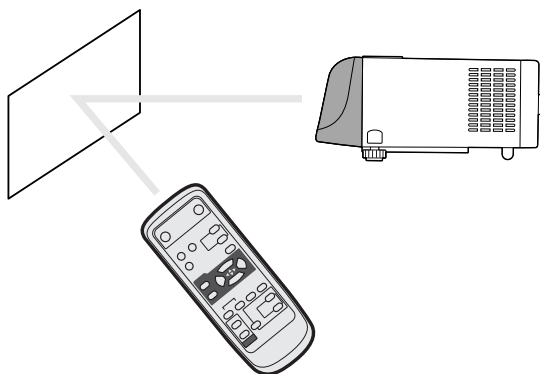
ワイヤレスリモコンとして使う

本体前面



本体のリモコン受光部
に向け、正面で約10m
以内のところから操作
します。

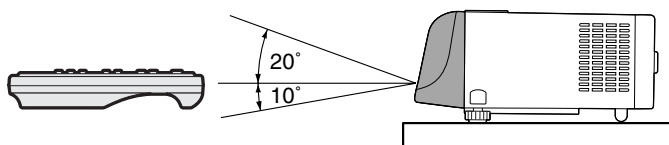
- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。
- リモコン受光部と蛍光灯は2m以上離してください。リモコンが誤動作することがあります。
- インバータ方式の蛍光灯が近くにある場合、リモコンが効きにくくなる場合があります。
- リモコンと本体を近づけすぎると、リモコンが効きにくくなる場合があります。



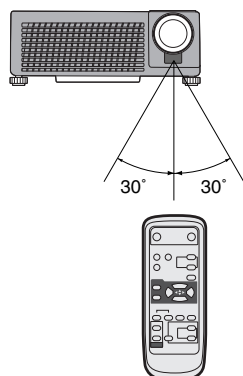
- スクリーンに向けて操作する場合は、リモコンからスクリーンを通して本機までの合わせた距離が約5m以内になります。ただし、スクリーンによって操作可能範囲は異なります。

操作範囲

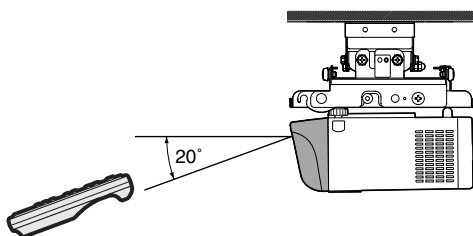
上下方向



左右方向



上下方向(天吊り時)



コンピュータの映像を見る

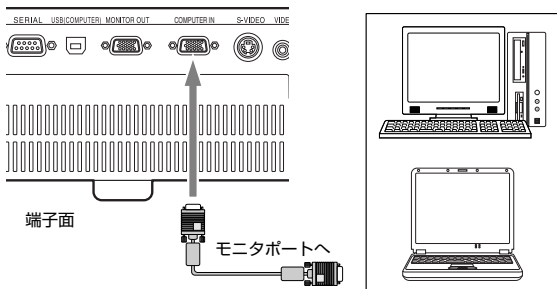
A. コンピュータと接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

準備

- プロジェクターおよびコンピュータの電源が切れていることを確認する
- デスクトップタイプの場合、モニタに接続されているRGB信号ケーブルをはずす

アナログRGB(ミニD-Sub15ピン)端子付きコンピュータと接続する

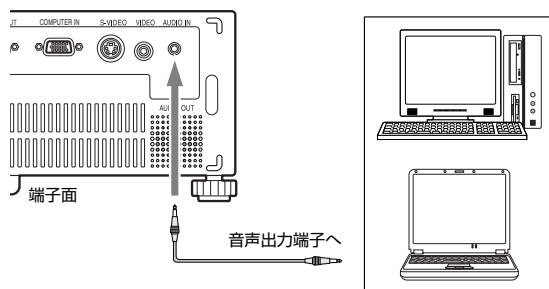


1 付属のRGB信号ケーブルを本機のCOMPUTER IN端子に接続する

2 コンピュータのモニタポートにRGB信号ケーブルのもう一方を接続する

- 接続するコンピュータの機種によっては、変換コネクタやアナログRGB出力アダプタなどが必要な場合があります。
- 付属のRGB信号ケーブル以外の長いケーブルを使用すると正常に映像が映らないことがあります。
- 本機のCOMPUTER IN端子はDDC 1/2Bに対応しています。この規格に対応したコンピュータと接続した場合、コンピュータが自動的に本機の情報を読み出し、適切な映像を出力するように設定されます。
- DDC対応のコンピュータと接続している場合、本機の電源コードを差込んでからコンピュータを起動してください。
- コンピュータによっては、DDCドライバのインストールが必要な場合があります。

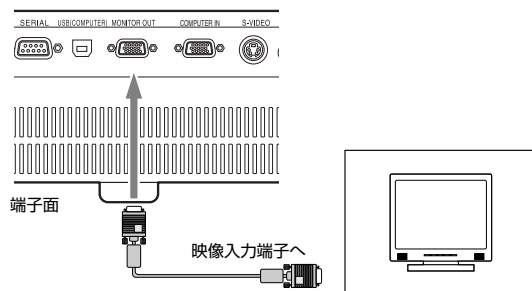
コンピュータの音声をプロジェクターから出力する



- 1 PC音声ケーブル(市販)を本機のAUDIO IN端子に接続する
- 2 PC音声ケーブルのもう一方をコンピュータの音声出力端子に接続する

- 本機の音声入力端子は、ステレオミニジャックです(ただし、スピーカ出力はモノラルになります)。接続するコンピュータの音声出力端子の形状に合わせてケーブルをお買い求めください。
- オーディオケーブルを接続すると、スピーカからの音声はMUTEされます。

プロジェクターの投写映像をモニタで見る(デスクトップのみ)



1 モニタに接続されているRGB信号ケーブルを本機のMONITOR OUT端子に接続する

- 接続するケーブルによっては、正常に映像が映らないことがあります。
- コンポーネントビデオ信号に対しては、MONITOR OUT端子はご使用できません。

はじめに

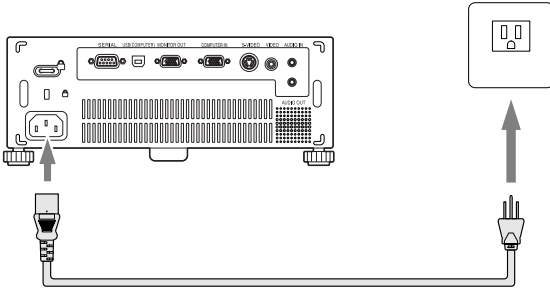
映像を見る

コンピュータの映像を見る
リモコンの使いかた

コンピュータの映像を見る(つづき)

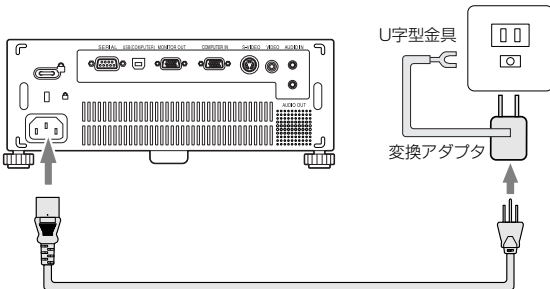
B. 電源コードを差込む

電源コンセントにアース端子の差込み口が付いている場合



- 1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する
- 2 電源コードのもう一方を電源コンセントに差し込む

電源コンセントにアース端子の差込み口が付いていない場合



- 1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する
- 2 電源コードのもう一方に付属の変換アダプタを取り付ける
- 3 変換アダプタのU字型金具を電源コンセントのアース端子に接続する
 - 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
 - 電源コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください(有料)。
- 4 変換アダプタを電源コンセントに差し込む
 - 本機の電源は、必ずアース付き交流100Vのコンセントを使用してください。
 - 電源プラグのアースをガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取付けないでください。

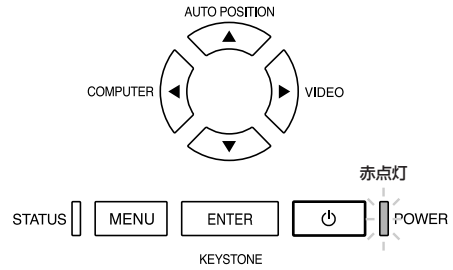
C. 投写する

準備

- レンズキャップをはずす
- コンピュータの電源を入れる

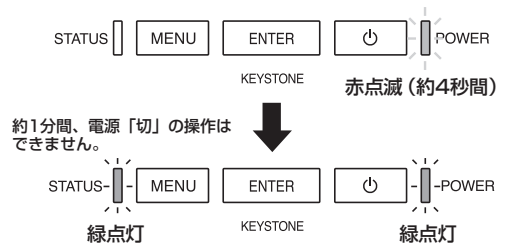
電源を入れる

- 1 POWERインジケータが赤色に点灯しているのを確認する



- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWERインジケータが赤色に点灯します。

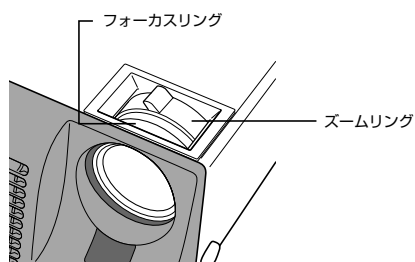
- 2 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのONボタンを押す



- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗し電源スタンバイ状態になることがあります。その場合は再度点灯させてください。もしランプが熱くなっている場合は、数分たってから再度点灯させてください。
- 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのONボタンを押したあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは電源を入れた時、「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合、約1分で「低」モードに切り替わります。
- 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。

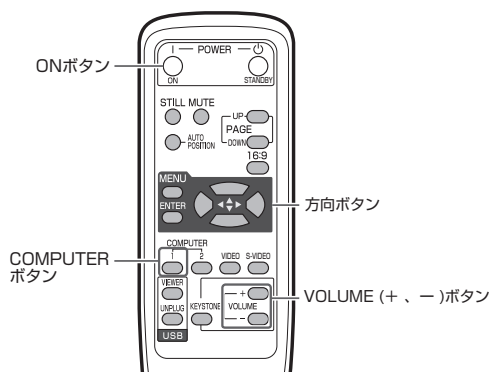
ピントを調整する

3 フォーカスリングを回してピントを調整する



入力を切替える

4 リモコンのCOMPUTER ボタンまたは本体のCOMPUTERボタンを押す



- ノートタイプのコンピュータの場合、コンピュータ側の設定を変更しないと映像が投写されない場合があります。くわしくは14ページをご覧ください。

設置する

5 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する

- スクリーンから本機までの距離は、右上の表を目安にして設置してください。

6 本機とスクリーンが垂直になるように設置する

- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください(14ページ参照)。

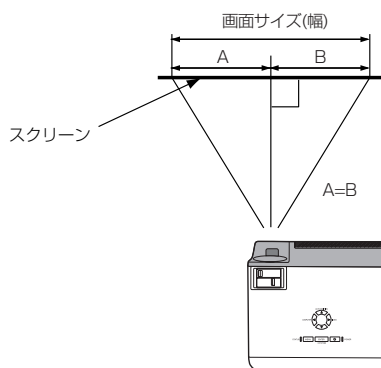
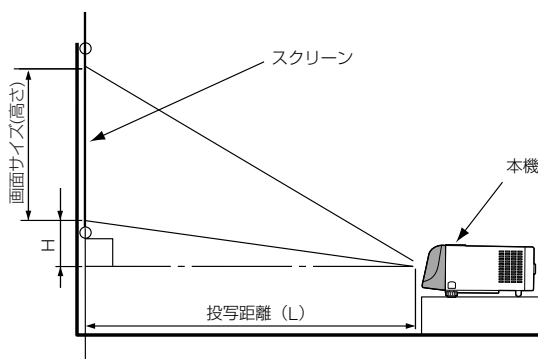
7 ズームリングを回して投写画面サイズを調整する

必要に応じて、操作3~7の設定は微調してください。

- 設置する場所については、あらかじめ4~7ページの「安全のために必ずお守りください」をお読みください。

画面サイズ (形)	画面サイズ		投写距離:L		高さ:H
	幅(cm)	高さ(cm)	最短(m)	最長(m)	
40	81	61	1.4	1.5	8.8
60	122	91	2.2	2.3	13.3
80	163	122	2.9	3.1	17.7
100	203	152	3.6	3.9	22.1
150	305	229	5.4	5.8	33.1
200	406	305	7.2	7.8	44.2
250	508	381	9.1	9.7	55.2
300	610	457	10.9	—	66.3

- 表示値は、実際と数%誤差が生じることがあります。



- スクリーンに直接照明などがあたらないようにしてください。映像がぼやけて見えることがあります。
- 天吊りにするなどの設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは27ページをご覧ください。

コンピュータの映像を見る(つづき)

音量を調整する

- 8 VOLUME(+または-)ボタンを押して音量を調整する

電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。

- 9 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのSTANDBYボタンを押す

- 10 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのSTANDBYボタンをもう一度押す

光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケータが点滅します。

- 11 STATUSインジケータの緑点滅が消えるまで、約90秒間そのまま待つ

- 光源ランプを冷やすため、一定時間、吸/排気ファンによる冷却が必要です。
- STATUSインジケータが点滅中は電源プラグをコンセントから抜かないでください。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

- 12 電源プラグをコンセントから抜く

POWERインジケータが消灯します。

ダイレクトパワーオフ

本機は、電源ボタンを押さずに、電源コードを抜いて電源を切ることができます。

- ダイレクトパワーオフ直後で、ランプ周辺の温度が高い状態で電源を「入」にした場合、直ちにオーディオアウトが始まり、冷却するために吸/排気ファンが作動します。ファンが作動してから約90秒後にランプが点灯します。
- ランプ点灯後、STATUSインジケータの点滅中はダイレクトパワーオフを行わないでください。ランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフした場合、すぐに電源を入れしないでください。(約10分間お待ちください)すぐに電源を入れるとランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフする前には必ずメニュー画面を閉じてください。メニュー操作中にダイレクトパワーオフすると、設定内容が記憶されない場合があります。

ノートタイプの場合

ノートタイプのコンピュータと接続した場合、映像が投写されない場合があります。そのときは、コンピュータの信号を外部に出力させる設定をおこなってください。設定のしかたは、コンピュータによって異なりますので、コンピュータの取扱説明書をご覧ください。

- 外部出力させる操作の例
「Fn」キー+「F1」～「F12」キーのいずれか(機種によって異なります)を押す。

AUTO POSITIONボタンについて

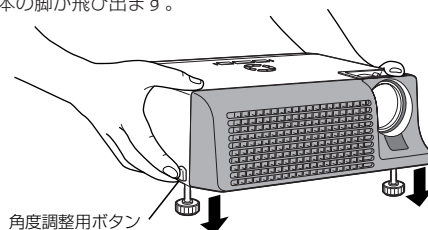
コンピュータの映像がずれるときは以下の操作を行ってください。

1. できるだけ明るい画面(ゴミ箱などのウィンドウを全画面表示にするなど)にする。
2. スクリーンセーバーがはたらいているときは、スクリーンセーバーを解除する。
3. AUTO POSITIONボタンを押す。
入力信号に最適な設定になるように自動調整が行われます。

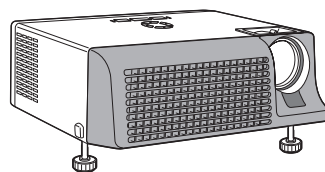
前部角度調節脚で投写角度を調整する

投写した映像がスクリーンからはみだすときは、高さを調整するか、または投写角度を以下のようにして調整してください。

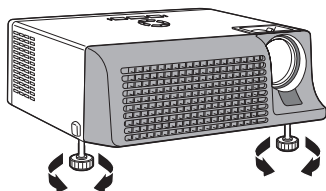
- 1 本体の前部を投写させたい角度まで持ち上げる
 - 傾き角を前後方向に対して15°以内に設置してください(角度調整脚のみによる角度調整角は、最大7°になります)。
- 2 左右の角度調整用ボタンを中心方向へ押す
 - 2本の脚が飛び出ます。



- 3 角度調整用ボタンおよび本体から手を離す



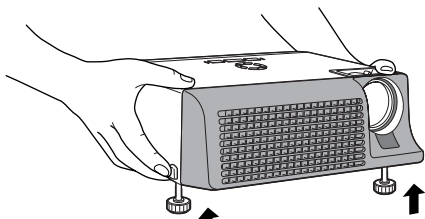
- 4 前部角度調整脚を左右に回して画面が平行になるように微調整する



- 台形補正時には調整値が表示されますが、投写角度とは異なります。
- 調整時に表示される調整値は、設置状態により調整範囲が異なります。
- 本体とスクリーンの設置条件によっては、正しく長方形にならない場合や、アスペクト比が4:3にならない場合があります。
- 台形補正を行うと、解像度が低下します。また、細かい模様映像での縞の発生、直線の折れ曲がり等の現象が見られますが、故障ではありません。
- 入力信号によっては、画像が正常に表示されないことがあります。

前部角度調整脚を収納するときは

- 5 本体を手で支えながら左右の角度調整用ボタンを中心方向へ押しゆっくり本体を降ろす



画面が台形にひずむときは

スクリーンと本機が直角になっていないと画面が台形になります。本機、およびスクリーンを調整しても直角にならないときは本体、またはリモコンのKEYSTONEボタンを押して「台形補正」を表示させてから、本体の▲、▼ボタンまたはリモコンの + (または▲)、- (または▼) ボタンを押して調整します。



▲(または +)
ボタンを押す



▼(または -)
ボタンを押す

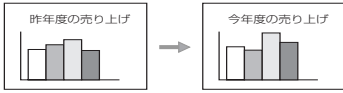


プレゼンテーションを演出する

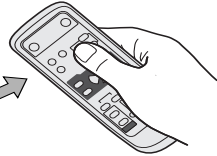
プレゼンテーションを行う上で、便利な使い方を紹介します

リモコンをコンピュータのページアップ・ダウンキーとして使う(ページアップ・ダウン)

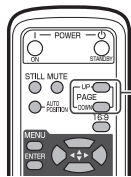
本機のリモコンでコンピュータの操作が行えるので、プレゼンテーションの画面を進めたり、もどしたりすることができます。



PAGE UP/DOWNボタンを押して次、または前の画面に切り換えます。



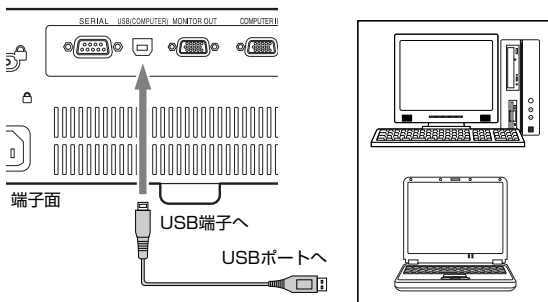
ページアップ・ダウンとして使用するボタン



PAGE UP/DOWNボタン

USBポート付き機種との接続

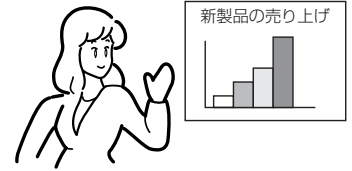
USBケーブルは、別途お買い求めください。



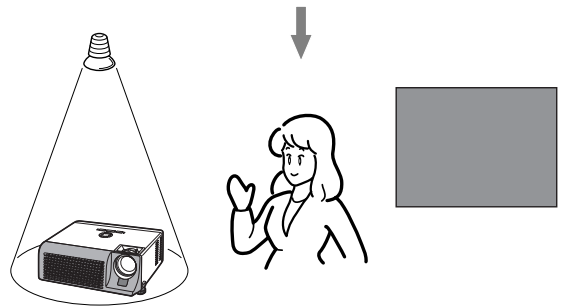
- USB接続して「Page up/down」できるのはUSBを標準でサポートしているパソコンのみです。
- USBケーブルは本機の光源ランプが点灯してから接続してください。

映像と音声を一時的に消す(AVミュート)

スピーチやプレゼン映像以外のものに視線を集中させたいときなど、一時的に映像と音声を消すことができます。



「新製品の売り上げは、このグラフの通りです。」



「これが、その新製品です。」

操作のしかた

- 1 リモコンのMUTEボタンを押す
映像が真っ暗になり、音声が消えます。
 - もう一度MUTEボタンを押すと、通常画面にもどります。

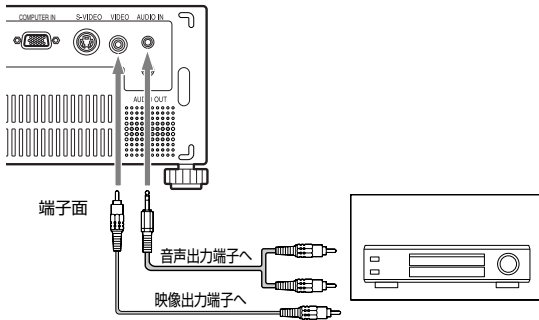
ビデオ機器の映像を見る

A. ビデオ機器と接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

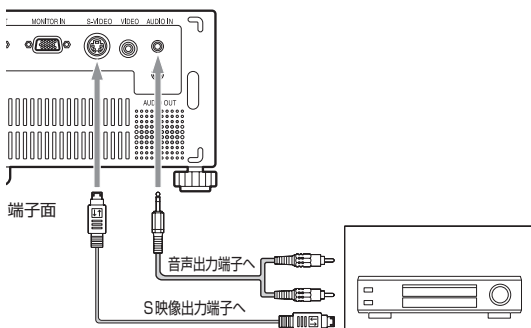
準備

- プロジェクターおよびビデオ機器の電源が切れていることを確認する



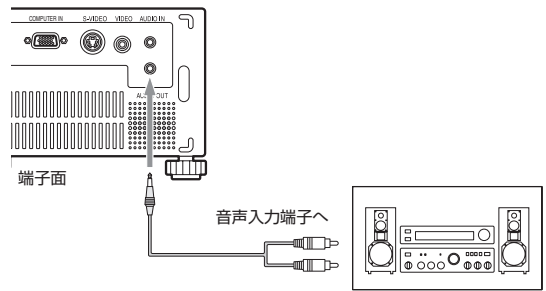
- 1 本機のVIDEO端子に付属のビデオケーブルの黄色のプラグを接続する
- 2 ビデオ機器の映像出力端子にビデオケーブルのもう一方の黄色のプラグを接続する
- 3 本機のAUDIO IN端子に市販のオーディオケーブルのミニジャックプラグを接続する
- 4 ビデオ機器の音声出力端子にオーディオケーブルのもう一方の白色(L)および赤色(R)のプラグを接続する

S映像出力端子付きビデオ機器と接続する



- 1 本機のS-VIDEO端子に市販のSビデオケーブルを接続する
- 2 ビデオ機器のS映像出力端子にSビデオケーブルのもう一方を接続する
- 3 本機のAUDIO IN端子に市販のオーディオケーブルのミニジャックプラグを接続する
- 4 ビデオ機器の音声出力端子にオーディオケーブルのもう一方の白色(L)および赤色(R)のプラグを接続する

外部スピーカからプロジェクターに接続している機器の音声を出すときは



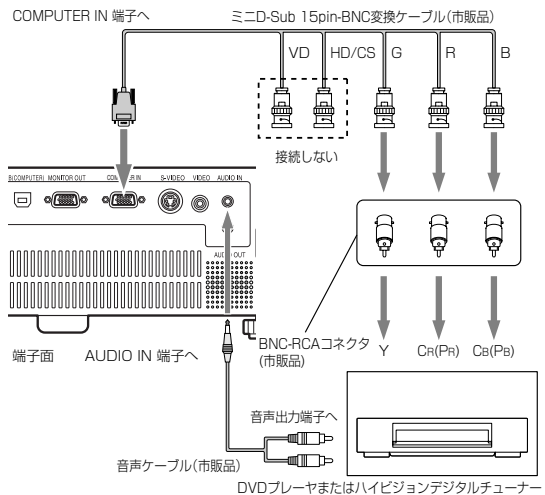
- 1 市販の音声ケーブルを本機のAUDIO OUT端子に接続する
 - このとき、内部スピーカからの音声は出力されなくなります。
- 2 外部スピーカと接続されたアンプの音声入力端子に音声ケーブルのもう一方を接続する

AUDIO OUT端子からの音声について

- MUTEボタンを押すと音声が消えます。
- VOLUME(+または-)ボタンを押すと音量が変わります。

DVDプレーヤまたはハイビジョンデジタルチューナーと接続する

DVDプレーヤ、またはハイビジョンデジタルチューナーなど、コンポーネントビデオ出力端子を持つ機器と本機を接続するときは、COMPUTER IN端子に接続します。



- 接続はミニD-Sub 15pin-BNC変換ケーブルを使用してください。DVDプレーヤとの接続にはBNC-RCAコネクタが必要となります。
- DVDプレーヤ、およびハイビジョンデジタルチューナーによっては映像が正しく投写できない場合があります。
- R、G、B出力を持つハイビジョン機器と接続するときは、信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定をRGBIにしてください。

映像を見る

ビデオ機器の映像を見る
プレゼンテーションを演出する

ビデオ機器の映像を見る(つづき)

B. 電源コードを差込む

「コンピュータの映像を見る」と同じです。12ページをご覧ください。

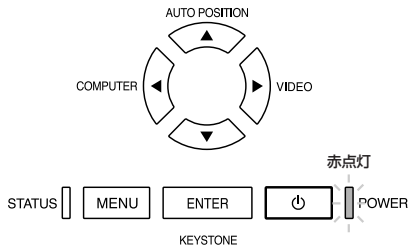
C. 投写する

準備

- レンズキャップをはずす
- ビデオ機器の電源を入れる

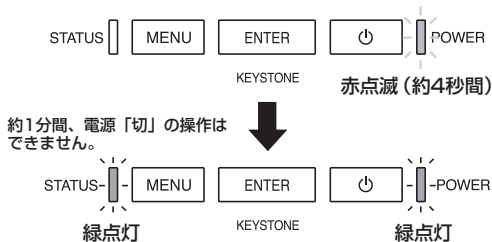
電源を入れる

- 1 POWERインジケータが赤色に点灯しているのを確認する



- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWERインジケータが赤色に点灯します。

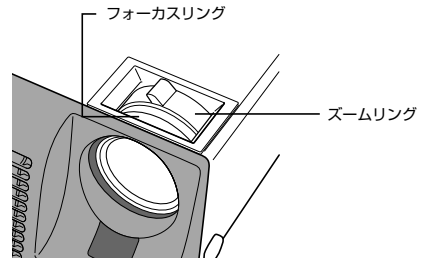
- 2 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのONボタンを押す



- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗し電源スタンバイ状態になることがあります。その場合は再度点灯させてください。もしランプが熱くなっている場合は、数分たってから再度点灯させてください。
- 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのONボタンを押したあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは電源を入れた時、「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合、約1分で「低」モードに切り替わります。
- 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。

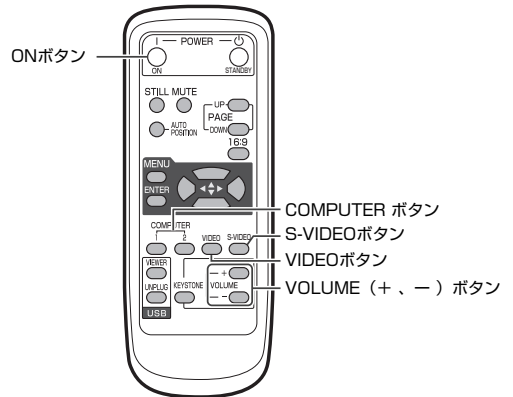
ピントを調整する

- 3 フォーカスリングを回してピントを調整する



入力を切替える

- 4 リモコンのVIDEOまたはS-VIDEOボタン、または本体のVIDEOボタンを押す



- 本体のVIDEOボタンを押すごとに「VIDEO」→「S-VIDEO」→「VIDEO」と切り替わります。
- COMPUTER IN 端子で接続しているDVDプレーヤやハイビジョンデジタルチューナーの映像を見るときは、COMPUTER ボタンまたは本体のCOMPUTERボタンを押します。

設置する

- 5 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する
 - スクリーンから本機までの距離は、13ページの表を目安にして設置してください。
- 6 本機とスクリーンが垂直になるように設置する
 - 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください(14ページ参照)。
- 7 ズームリングを回して投写画面サイズを調整する
 - 必要に応じて、操作[3]~[7]の設定は微調整してください。

音量を調整する

- 8 VOLUME(+ または -)ボタンを押して音量を調整する

電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。

- 9 本体の電源ボタン(Ⓜ)またはリモコンのSTANDBYボタンを押す
- 10 本体の電源ボタン(Ⓜ)またはリモコンのSTANDBYボタンをもう一度押す
光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケーターが点滅します。
- 11 STATUSインジケーターの緑点滅が消えるまで、約90秒間そのまま待つ
 - 光源ランプを冷やすため、一定時間、吸/排気ファンによる冷却が必要です。
 - STATUSインジケーターが点滅中は電源プラグをコンセントから抜かないでください。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。
- 12 電源プラグをコンセントから抜く
POWERインジケーターが消灯します。

ダイレクトパワーオフ

本機は、電源ボタンを押さずに、電源コードを抜いて電源を切ることができます。

- ダイレクトパワーオフ直後で、ランプ周辺の温度が高い状態で電源を「入」にした場合、直ちにオーディオアウトが始まり、冷却するために吸/排気ファンが作動します。ファンが作動してから約90秒後にランプが点灯します。
- ランプ点灯後、STATUSインジケーターの点滅中はダイレクトパワーオフを行わないでください。ランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフした場合、すぐに電源を入れしないでください。(約10分間お待ちください)すぐに電源を入れるとランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフする前には必ずメニュー画面を閉じてください。メニュー操作中にダイレクトパワーオフすると、設定内容が記憶されない場合があります。

静止画について

リモコンのSTILLボタンを押すと、映像が一時的に停止します。もう一度押すと通常画面にもどります。

- 音声は通常どおり聞こえます。
- 静止画中にSTILLボタン以外のボタンを押しても通常画面にもどります(一部、もどらないボタンもあります)。
- 静止画を表示し続けた場合、残像が発生することがありますので長時間静止画を表示させないでください。

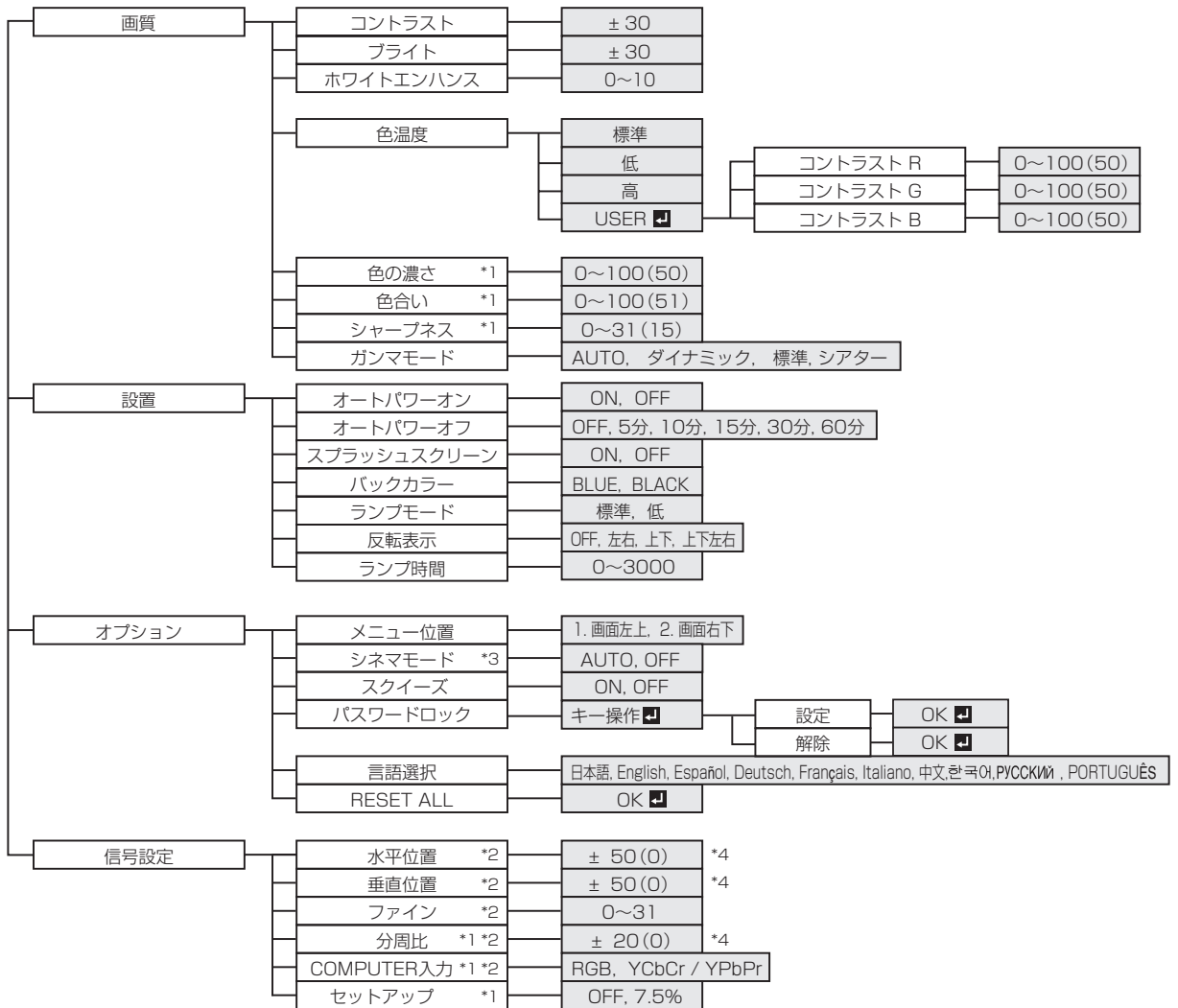
アスペクト比切り換え機能について (16:9ボタン)

スクイーズ(左右に圧縮)された映像が記録されたDVDディスクなどを投写するときに16:9ボタンを押すと、元の16:9の横長画面で表示されます。もう一度押すと通常画面にもどります。

- 長時間横長画面で使用された後、4:3表示で使用されると、画面の上下にマスク部分の痕跡が残る場合があります。このような場合には三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

メニューを使って設定する

メニュー遷移図



*1: 信号の種類によって、選択できないことがあります。

*2: VIDEO、S-VIDEO端子からの信号入力時は選択できません。

*3: TV60、TV50、480i、576iの信号入力時のみ選択できます。

*4: 信号の種類によって、選択範囲が変わります。

- メニュー画面上の「」マークのある項目は、確定するためには項目を選んでからENTERボタンを押す必要があります。

メニュー設定のしかた

画面はオートパワーオフの時間設定を例として説明しています。

1 MENUボタンを押す

- メニュー選択バーが表示されます。



2 ◀、▶ボタンを押して表示させたいメニューを選ぶ



3 ENTERボタン(または▼ボタン)を押す

- 希望のメニューが表示されます。



4 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ



5 ◀、▶ボタンを押して設定する



メニューを消すときは

6 ▲ボタンを押してメニューに戻り、MENUボタンを押す

- ボタンを押しても、メニュー画面の操作ができなくなることがあります。この場合、誤動作している可能性があります。このときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続してください。
- 画質メニュー、信号設定メニューの調整は、外部からの入力信号が入力されている状態のみおこなえます。

メニューで設定できること

本機では、以下の設定はメニュー画面を表示させて行います。

画質メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。

設定項目	設定	はたらき
コントラスト	-30 ~ +30	映像のコントラストを調整します(24ページ参照)。
ブライト	-30 ~ +30	映像の明るさを調整します(24ページ参照)。
ホワイトエンハンス	0 ~ 10	映像に含まれる白色の度合いを調整します。
色温度	標準、低、高、USER	映像の色温度を調整します(24ページ参照)。
色の濃さ	0~100	映像の色の濃さを調整します(24ページ参照)。
色合い	0~100	映像の色合いを調整します(24ページ参照)。
シャープネス	0~31	映像の鮮鋭度を調整します(24ページ参照)。
ガンマモード	AUTO	入力信号に合わせて、ガンマモードを設定します(通常はこれを選びます)。
	ダイナミック	コンピュータ映像に適した設定になります。
	標準	ビデオ映像に適した設定になります。
	シアター	映画、音楽ライブを見るときなど比較的輝度を抑えたいとき選びます。

- TV50(PAL、SECAM)信号入力時は色合いの調整はできません。



メニューを使って設定する(つづき)

設置メニュー

設定項目	設定	はたらき
オートパワーオン	OFF	通常はこれを選びます。
	ON	電源プラグをコンセントに接続したとき、自動的に電源が入ります。天吊り時などに設定します。
オートパワーオフ	OFF	オートパワーオンをONからOFF、またはOFFからONに変更する場合、この設定はクーリング後に保存されます(ダイレクトパワーオフの場合については保存されません)。
	5分、10分、15分、30分、60分	オートパワーオフは、はたらきません。映像信号が未入力の時設定した時間になると自動的に電源が切れます。
スプラッシュスクリーン	ON	電源を入れたときスプラッシュスクリーン(起動画面)を表示します。
	OFF	スプラッシュスクリーン(起動画面)を表示しません。
バックカラー	BLUE、BLACK	無信号時の背景の色を選択します。
ランプモード	標準	通常はこれを選びます。
	低	ランプの明るさを抑えるモードです。動作音が小さくなり、光源ランプの交換に至るまでの時間が長くなります。
反転表示	OFF	床置きで正面から映像を見るときに選びます、通常はこれを選びます。
	左右	床置きでスクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	上下	天吊りして、スクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	上下左右	天吊りして、正面から映像を見るときに選びます。
ランプ時間		ランプ点灯時間を低モードに換算した時間で表示します。



- ランプモードは電源を入れた時、「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合、約1分で「低」モードに切り替わります。
- ランプモードを切替えたとき、映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは頻繁に切替えないでください。ランプの寿命が短くなる場合があります。

オプションメニュー

設定項目	設定	はたらき
メニュー位置	1. 画面左上 2. 画面右下	メニューの表示位置を切替えます。
シネマモード	AUTO	フィルム映像信号を入力したとき、自動的にフィルムモード処理を行います。
	OFF	フィルムモード処理は行いません。
スクイーズ	OFF	通常はこちらに合わせます。
	ON	スクイーズ(左右に圧縮)された映像が記録されたDVDディスクなどを投写するときはこちらに合わせます。HDTVには対応していません。
パスワードロック	キー操作	パスワードロック機能の設定解除に使用します(26ページ参照)。
言語選択	11言語	メニュー画面などの画面上に表示される言語を選びます。
RESET ALL	OK	ENTERボタンを押すと、メニュー画面の設定をすべて工場出荷時の値にもどします(言語選択、およびパスワードロックを除く)。

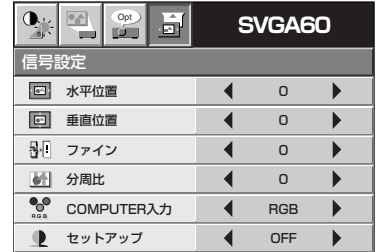


信号設定メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。

※このメニューは一時的に信号の表示位置などを調整するものです。このメニューで設定されたデータは、外部信号入力がなくなる、または本体の電源を切ると元の値に戻ります。

設定項目	設定	はたらき
水平位置	±50	映像の表示位置を左右に動かします。
垂直位置	±50	映像の表示位置を上下に動かします。
ファイン	0 ~ 31	コンピュータ入力信号またはYCbCr/YPbPrコンポーネントビデオ端子による映像にちらつきやぼけが出たときに、画面を見ながら調整します。
分周比	±20	映像に幅広の縞模様が出たときに、画面を見ながら調整します。
COMPUTER入力	RGB	通常はこちらに合わせます。R,G,B出力端子を持つハイビジョン機器と接続するときは、こちらに合わせます。
	YCbCr/YPbPr	Y、Cb、Crコンポーネントビデオ出力端子を持つDVDプレーヤまたはY、Pb、Prコンポーネントビデオ出力端子を持つハイビジョンデジタルチューナーなどと接続するときに設定します。DVDプレーヤなどで480p(525p)信号を入力するときは、こちらに合わせます。
セットアップ	OFF	国内盤のLDやDVDの映像を見るときに選択します。
	7.5%	米国盤のLDやDVDの映像を見るときに選択します。

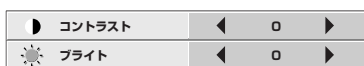


映像を調整する

映像の明るさを調整する(コントラスト、ブライト)

メニューを使って映像の明るさに関する調整をします。

- 1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは21ページ参照)
- 2 ▲、▼ボタンを押す
 - 「コントラスト」または「ブライト」を選びます。

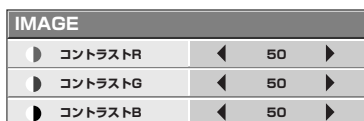


- 3 ◀、▶ボタンを押して調整する
コントラスト …… ▶ボタンを押すごとに映像が明るくメリハリが出ます。◀ボタンを押すごとに映像が暗くしっとりします。
ブライト …… ▶ボタンを押すごとに映像が明るくなります。◀ボタンを押すごとに映像が暗くなります。

白の色合いを調整する(色温度の詳細設定)

メニューを使って色温度(白の色合い)の調整をします。

- 1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは21ページ参照)
- 2 ▲、▼ボタンを押して「色温度」を選ぶ
- 3 ◀、▶ボタンを押して「USER」を選ぶ
- 4 ENTERボタンを押す
 - 色温度の詳細メニューが表示されます。



- 5 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ
- 6 ◀、▶ボタンを押して設定する
- 7 操作 5、6 を繰り返して設定する
- 8 MENUボタンを3回押す

色温度について

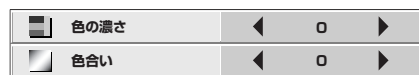
同じ白色といっても、いろいろの程度があります。白さの程度を表す方法のひとつに色温度があります。色温度の低い白色は赤みがかった白色となり、色温度の高い白色は青みがかった白色となります。本機では、この色温度の設定をコントラスト青とコントラスト赤の数値を変化させることにより、設定します。

- 色温度を高くするには
コントラストB(青)の数値を大きく、コントラストR(赤)の数値を小さく設定します。
- 色温度を低くするには
コントラストB(青)の数値を小さく、コントラストR(赤)の数値を大きく設定します。

色を調整する(色の濃さ、色合い)

メニューを使って映像の色に関する調整をします。

- 1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは21ページ参照)
- 2 ▲、▼ボタンを押す
 - 「色の濃さ」または「色合い」を選びます。



- 3 ◀、▶ボタンを押して調整する
色の濃さ …… ▶ボタンを押すごとに色が濃くなります。◀ボタンを押すごとに色が薄くなります。
色合い …… ▶ボタンを押すごとに肌色が緑がかります。◀ボタンを押すごとに肌色が紫がかります。
- 「色合い」は、NTSC、4.43NTSC時のみはたります。

映像をくっきりさせたり、ソフトにする(シャープネス)

メニューを使って映像の鮮鋭度に関する調整をします。

- 1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは21ページ参照)
- 2 ▲、▼ボタンを押して「シャープネス」を選ぶ



- 3 ◀、▶ボタンを押して調整する
 - 信号の種類によって、選択できないことがあります。

コンピュータ映像の調整

本機は、コンピュータからの映像の信号に合わせて自動的に適切な信号形式に設定しますが、コンピュータの種類によっては、正しく投写できない場合があります。そのときは、AUTO POSITIONボタンを押してください(14ページ参照)。それでも正しく投写されないときはメニュー画面を使って投写されるコンピュータ映像を調整します。設定した内容については、電源を切った後や信号ケーブルを抜いた後は消去されます。

メニュー画面を使ったコンピュータ映像の調整のしかた

次のような症状のときは以下の様に調整してください。

- **投写画面が左右にずれる**
信号設定メニューの水平位置を調整します。◀ボタンを押すごとに映像が右にずれます。▶ボタンを押すごとに映像が左にずれます。
- **投写画面が上下にずれる**
信号設定メニューの垂直位置を調整します。◀ボタンを押すごとに映像が下にずれます。▶ボタンを押すごとに映像が上にずれます。
- **投写画面がちらつく、ぼける**
信号設定メニューのファインを調整します。
- **幅広のしま模様が出る**
信号設定メニューの分周比を調整します。

簡単な画面位置調整のしかた(AUTO POSITIONボタンで調整できない場合)

水平位置の調整:

- 1 水平位置を調整して映像の左端を合わせ、分周比を調整して右端を合わせる。
- 2 操作1を繰り返し、水平位置の調整を行う。

垂直位置の調整:

- 3 垂直位置を調整して映像の上端を合わせる。

パスワードを設定する

本機はパスワードロック機能により、お子様による誤操作防止および特定者以外による操作を制限することなどができます。

キー操作

本体の電源ボタン以外のボタン操作ができなくなります(リモコンのボタン操作はできます)。お子様による誤操作防止や特定者以外による操作の制限ができます。

パスワードロックの設定のしかた

- 1 オプションメニューを表示させる
- 2 ▲または▼ボタンを押してパスワードロックを選択する



- 3 ENTERボタンを押す
 - パスワードロック画面(設定用)が表示されます。



- すでにパスワードが設定されているときは、ENTERボタンを押して、パスワードロック機能を解除してから設定し直してください。

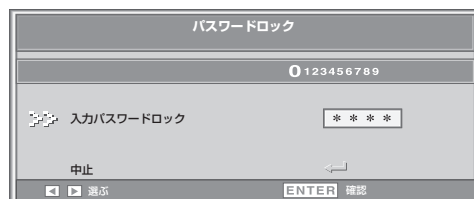
- 4 ENTERボタンを押す
 - パスワード入力画面が表示されます。



- 5 ▲または▶ボタンを押して0~9を選択する
- 6 ENTERボタンを押す
 - 次の桁の設定ができるようになります
- 7 操作[5]、[6]を繰り返してパスワード(4桁)を設定する
- 8 同様に再入力欄にパスワードと同じ数字を設定する
- 9 最後の桁の数字を入力するとパスワードの設定は完了し、パスワードメニューは終了します。
 - 再入力欄の数字とパスワードが一致しない場合は、パスワード入力画面が再び表示されます。
 - パスワード設定を取り消したいときは、中止を選択してENTERボタンを押します。
 - MENUボタンを押してパスワード画面を閉じることもできます。

パスワードロックの解除のしかた

- 1 オプションメニューを表示させる
- 2 ▲または▼ボタンを押してパスワードロックを選択する
- 3 ENTERボタンを押す
 - パスワードロック画面(解除用)が表示されます。
- 4 ENTERボタンを押す
 - パスワード入力画面が表示されます。



- 5 ▲または▶ボタンを押して0~9を選択する
- 6 ENTERボタンを押す
 - 次の桁の設定ができるようになります。
- 7 操作[5]、[6]を繰り返してパスワード(4桁)を設定する
- 8 最後の桁の数字を入力するとパスワードの設定は完了し、パスワードメニューは終了します。
 - 再入力欄の数字とパスワードが一致しない場合は、パスワード入力画面が再び表示されます。
 - パスワード設定を取り消したいときは、中止を選択してENTERボタンを押します。
 - MENUボタンを押してパスワード画面を閉じることもできます。

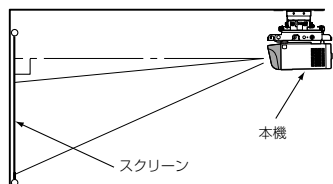
パスワードを忘れたときは

本体操作パネルのMENUボタン、およびENTERボタンを同時に3秒間押して、パスワードを解除してください。

設置工事を依頼するときは・お掃除のしかた

天吊りして正面から映像を見る場合

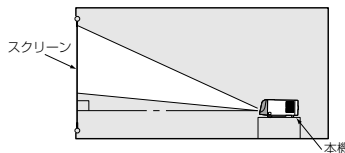
天吊りにする場合は別売の専用天吊り金具を使用してください。また、設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。



- 当社製以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷等については保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 天吊りの場合、設置メニューの反転表示を「上下左右」にしてください。くわしくは22ページをご覧ください。
- プレーカなどを設置するよう、工事業者に依頼してください。ご使用にならないときは、必ずプレーカなどで主電源を落としておいてください。
- 天吊りの場合、床置き時に比べて画面の明るさが暗くなることがありますが、故障ではありません。
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本体の排気口から温風が出ますので、火災報知器の近くに設置しないでください。

半透過性のスクリーンに投写し、裏側から映像を見る場合

設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。



- 裏側から映像を見る場合、設置メニューの反転表示を「左右」にしてください。くわしくは22ページをご覧ください。

お掃除のしかた

お手入れをする前には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体やレンズを掃除する場合、可燃性の溶剤（ベンジン、シンナーなど）やスプレーを使用しないでください。

ランプ点灯の際、可燃成分に引火して火災や故障の原因になることがあります。

本体をきれいにする

柔らかい布で軽く汚れをふき取る

- 汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼって拭いて、乾いた布で仕上げてください。
- 殺虫剤をかけたり、ベンジンやシンナーなどで拭いたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させると、変質したり、塗料がはげる原因となります。

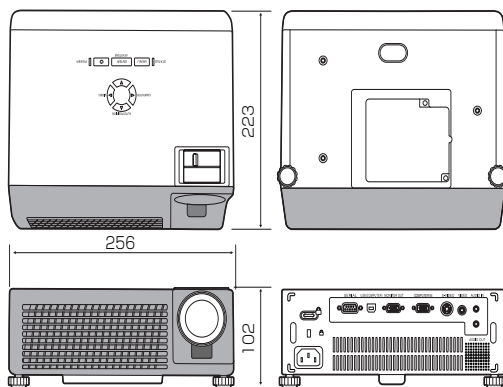
レンズをきれいにする

市販のレンズ手入れ用品（ブローワーブラシなど）でほこりや汚れを取る

- レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たいたいたりしないでください。

寸法図(参考)

単位はmm



その他

設置工事を依頼するときは・お掃除のしかた
パスワードを設定する

光源ランプを交換する

本機には、DMDの映像を投写するために光源ランプが内蔵されています。

本光源ランプは消耗部品であり、使用中に切れたり、輝度が低下する場合があります。このような場合、早めに新しい光源ランプと交換してください。

光源ランプは、必ず別売の専用の光源ランプをご使用ください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

LVP-SD206用光源ランプ

形名: VLT-XD206LP

警告

- 光源ランプを交換する前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントから抜かずに交換を行うと感電の原因となることがあります。
- 光源ランプの固定ネジを本機内部に落とさないようにしてください。また、本機内部に金属片や燃えやすいものを入れないでください。内部に異物が入ったまま使うと感電や火災の原因となります。入ったものがとれないときは、異物の回収を三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
- 光源ランプは確実に取付けてください。取付けが不十分な場合、光源ランプは点灯しません。また、火災の原因にもなります。
- 取出した光源ランプは決して振ったり顔の上に持っていかないでください。ガラス片が飛び散ったり落下して目に入る等のけがのおそれがあります。
- 使用した直後、ランプカバーは高温になっていますので光源ランプの交換はしないでください。やけどなどの原因となります。電源ボタンで電源を切り、光源ランプ消灯後、冷却のための吸・排気ファンが止まるまで約90秒間お待ちください。そして電源プラグをコンセントから抜き1時間以上たって十分に冷えてから交換をはじめてください。
- 高圧水銀ランプが破裂した場合、本体内部にガラス片が散乱している可能性があります。清掃やランプ交換をお客様ご自身でなされる場合、必ず本体をうらがえしし、光源ランプの取っ手を持っておこなってください。ガラス片でけがの恐れがあります。三菱電機テクニカルサポートセンターに光源ランプの交換と内部の点検を依頼することをお勧めします。

注意

本機は光源ランプの使用時間がシャットダウン警告時間*1を越えるとSTATUSインジケータが点滅し、また、光源ランプの使用時間がシャットダウン時間*1を越えると自動的に電源が切れ、光源ランプを交換するまで使用することができなくなります。

- 光源ランプは、交換以外の目的では取出さないでください。故障の原因となることがあります。
- 本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。また、高圧水銀ランプは個体差や使用条件によって破裂や不点灯に至るまでの時間はそれぞれの高圧水銀ランプで大きな差があります。従いまして、使用開始後まもない場合でも破裂することがあります。また、寿命が近づくと破裂する可能性が高くなります。

- シャットダウン予告が出た場合、光源ランプが正常に点灯している状態でも新しい光源ランプに交換することをお勧めします。
- 高圧水銀ランプ破裂のとき、ランプBOX部内、外にガラスの破片が飛び散ったり、光源ランプ内部のガスが本体の排気口から出たりすることがあります(白いガス)。高圧水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりしないようご注意ください。万一、吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合には、速やかに医師にご相談ください。
- 使用済みのランプは、自治体で定められた条例、もしくは規則に従って廃棄してください。

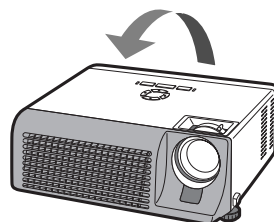
*1 ランプシャットダウンまでの使用時間(ランプモード「低」使用時)。

	LVP-SD206
シャットダウン警告時間	2850時間
シャットダウン時間	3000時間

注) ランプモードを「標準」にした場合のシャットダウン時間は2000時間です。「低」にした場合よりも時間が短くなります。

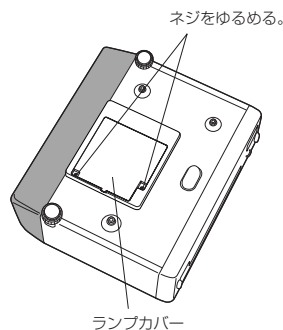
ランプ交換のしかた

1 本機をうらがえす

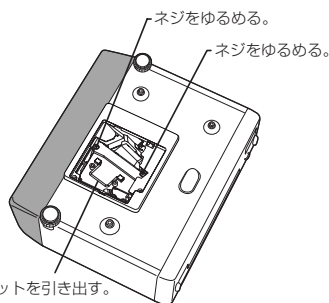


- 製品が動かないように安定させてから作業してください。

2 ランプカバーの固定ネジ(2本)をゆるめ、ランプカバーを本体から取外す



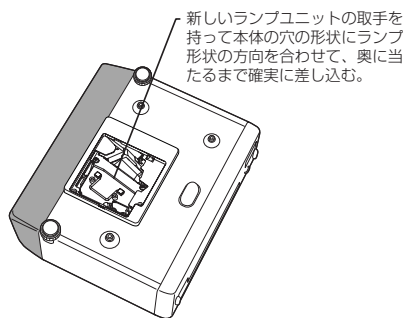
- 3 ランプユニットの固定ネジ(2本)をゆるめ、ランプユニットの取手を持ってランプユニットを取り出す



取手を持ち、ランプユニットを引き出す。

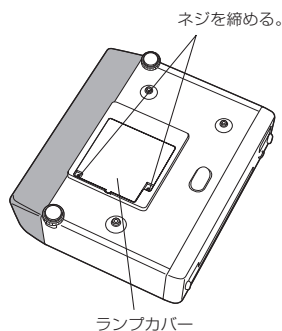
- ランプユニットを本体から抜き出す際は、ゆっくりとおこなってください。電球部が破裂している場合は急に抜き出しますとガラス片が飛び散るおそれがあります。
- 取出した光源ランプに水などをかけたり、お子さまの手の届くところや、燃えやすい物の近くに置かないでください。やけどやけがの原因となります。

- 4 新しいランプユニットを挿入する



- 5 ランプユニットを固定ネジでしっかり締める

- 6 ランプカバーを本体に差し込み、ランプカバーの固定ネジでしっかり締める

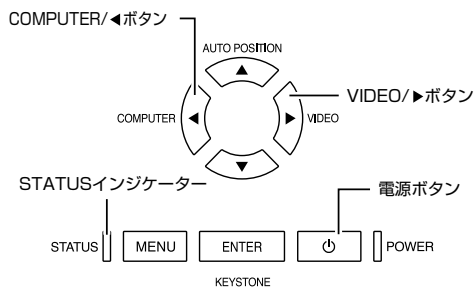


- ランプカバーがはずれているとPOWERインジケータが赤と緑で点滅し、電源が入りません。

ランプ使用時間をリセットする

- 7 電源プラグをコンセントに接続する

- 8 本体操作パネルの◀、▶ボタン、および電源ボタン(⏻)を約5秒間同時に押す



- 3つのボタンが同時に押されない場合、リセットされないことがあります。
- STATUSインジケータが赤色に約5秒間点灯し、リセットされたことをご確認ください。
- ランプ使用時間がシャットダウン時間*を越えていた場合、ランプを交換しても使用時間をリセットするまでは光源ランプを点灯させることはできません。
- ランプを交換していないときは使用時間をリセットしないでください。

* シャットダウン時間については28ページ参照

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

映像が映らない

現象	確認/処置																																
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● インジケータの光りかたを確認する。 <table border="1" data-bbox="419 392 1087 977"> <thead> <tr> <th>POWER</th> <th>STATUS</th> <th>状態</th> <th>処置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>□ 消灯</td> <td>□=点 緑点滅</td> <td>ランプの異常</td> <td>● STATUSインジケータの緑点滅が消えてから電源ボタンを押す。 上記の操作を数回おこなっても、光源ランプが点灯しないときは、光源ランプを交換し、ランプ使用時間をリセットください。 光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターへご依頼ください。</td> </tr> <tr> <td>点 緑点灯</td> <td>点 オレンジ点灯</td> <td>カラーホイールの異常</td> <td>● お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。</td> </tr> <tr> <td>□=点 緑点滅</td> <td>点 緑点灯</td> <td>ファンの異常</td> <td>● 埃やゴミでファンが詰まってないかどうか確認し、詰まっていた場合はきれいにする。 ● 上記の処置を行っても正常にならない場合は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。</td> </tr> <tr> <td>点 緑点灯</td> <td>点 赤点灯</td> <td>温度異常</td> <td>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。 ● 温度が低い場所に本体を設置直す。 ● 電源を直接切り、次に電源を入れた場合、まず本体内部の温度チェックを行います。温度が高い場合は、90秒間の冷却動作に入ります。</td> </tr> <tr> <td>□ 消灯</td> <td>点 赤点灯</td> <td>ランプが寿命に達した状態</td> <td>● ランプを交換し、ランプ使用時間をリセットする。</td> </tr> <tr> <td>N/A</td> <td>N/A</td> <td>ランプカバーが開いている状態</td> <td>● 裏面のランプカバーを閉じる。</td> </tr> <tr> <td>点 緑点灯</td> <td>□=点 赤点滅</td> <td>ランプ寿命の95%に達した状態</td> <td>● ランプを交換し、ランプ使用時間をリセットする。</td> </tr> </tbody> </table>	POWER	STATUS	状態	処置	□ 消灯	□=点 緑点滅	ランプの異常	● STATUSインジケータの緑点滅が消えてから電源ボタンを押す。 上記の操作を数回おこなっても、光源ランプが点灯しないときは、光源ランプを交換し、ランプ使用時間をリセットください。 光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターへご依頼ください。	点 緑点灯	点 オレンジ点灯	カラーホイールの異常	● お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。	□=点 緑点滅	点 緑点灯	ファンの異常	● 埃やゴミでファンが詰まってないかどうか確認し、詰まっていた場合はきれいにする。 ● 上記の処置を行っても正常にならない場合は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。	点 緑点灯	点 赤点灯	温度異常	● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。 ● 温度が低い場所に本体を設置直す。 ● 電源を直接切り、次に電源を入れた場合、まず本体内部の温度チェックを行います。温度が高い場合は、90秒間の冷却動作に入ります。	□ 消灯	点 赤点灯	ランプが寿命に達した状態	● ランプを交換し、ランプ使用時間をリセットする。	N/A	N/A	ランプカバーが開いている状態	● 裏面のランプカバーを閉じる。	点 緑点灯	□=点 赤点滅	ランプ寿命の95%に達した状態	● ランプを交換し、ランプ使用時間をリセットする。
POWER	STATUS	状態	処置																														
□ 消灯	□=点 緑点滅	ランプの異常	● STATUSインジケータの緑点滅が消えてから電源ボタンを押す。 上記の操作を数回おこなっても、光源ランプが点灯しないときは、光源ランプを交換し、ランプ使用時間をリセットください。 光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターへご依頼ください。																														
点 緑点灯	点 オレンジ点灯	カラーホイールの異常	● お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。																														
□=点 緑点滅	点 緑点灯	ファンの異常	● 埃やゴミでファンが詰まってないかどうか確認し、詰まっていた場合はきれいにする。 ● 上記の処置を行っても正常にならない場合は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。																														
点 緑点灯	点 赤点灯	温度異常	● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。 ● 温度が低い場所に本体を設置直す。 ● 電源を直接切り、次に電源を入れた場合、まず本体内部の温度チェックを行います。温度が高い場合は、90秒間の冷却動作に入ります。																														
□ 消灯	点 赤点灯	ランプが寿命に達した状態	● ランプを交換し、ランプ使用時間をリセットする。																														
N/A	N/A	ランプカバーが開いている状態	● 裏面のランプカバーを閉じる。																														
点 緑点灯	□=点 赤点滅	ランプ寿命の95%に達した状態	● ランプを交換し、ランプ使用時間をリセットする。																														
映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● MUTEボタンを押してAVミュートの設定をはずす。 ● ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。 ● まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。 ● ダイレクトパワーオフした場合、すぐに電源を入れないでください。(約10分間お待ちください)すぐに電源を入れるとランプ寿命に影響する恐れがあります。内部温度が高い状態で電源を入れた場合、オーディオアウトは直ちに始まりますが、ランプは約90秒のファンクーリング後に点灯します。 ● ランプカバーが開まっているか確認する(28ページ参照)。 ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。 ● 延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせてご使用ください。 ● レンズキャップをはずす。 																																
映像が突然消える	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口、排気口がふさがれているときになることがあります。(このときSTATUSインジケータは赤点灯しています) →吸気口、排気口をふさいでいる物を取り除いてから以下の操作を行う。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 吸・排気ファンが止まるまで待つ。(STATUSインジケータが消灯するまで待つ) 2. 電源プラグをコンセントから抜く。 3. 約10分ほど待つ。 4. 電源プラグをコンセントに接続する。 5. 電源ボタンを押す。 ● STATUSインジケータが赤点灯しているときは、ランプ交換の表示です。光源ランプを交換してください。 																																
ブルーバック状態が続く	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続した機器の電源を入れる。または接続した機器が故障していないか確認する。 ● 外部機器の信号が出力されているか確認する。(特にノートタイプのコンピュータの場合) ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。 ● 外部機器と接続している端子が正しい端子に接続されているか確認する。 ● 接続した機器の入力が正しく選ばれているか確認する。 ● RGB接続時に延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせてご使用ください。 																																

映像がおかしい

現象	確認/処置
映像がゆれる 画面位置がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部機器と接続しているケーブルが断線しかかかっていないか確認する。 ● 外部機器と接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● AUTO POSITIONボタンを押す。 ● コンピュータの種類によっては、まれに規格外の信号が出力される場合があるので信号設定メニューで調整する(25ページ参照)。
映像がひずむ	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機と投写面が直角になるように調整する(14ページ参照)。
映像が暗い	<ul style="list-style-type: none"> ● 画質メニューのブライトの調整をする(24ページ参照)。 ● レンズキャップをはずす。 ● ランプを交換する(28ページ参照)。 ● 信号設定メニューのセットアップの設定が正しく設定されているかを確認する(23ページ参照)。
映像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスを合わせる(13、18ページ参照)。 ● レンズをきれいに拭く。 ● レンズキャップをはずす。 ● リモコンの◀、または▶ボタンを押してちらつきをなくす。 ● 画質メニューのブライトおよびコントラストの調整をする(24ページ参照)。 ● 本機と投写面が直角になるように調整する(14、15ページ参照)。
映像に光る点が見える 映像に黒い点が見える	<ul style="list-style-type: none"> ● DLPプロジェクター特有の現象です。故障ではありません。(一部、常時点灯または常時不点灯の画素が存在する場合がありますが、故障ではありません。99.99%以上は有効な画素数です。)
映像に細かい縞模様が見える	<ul style="list-style-type: none"> ● スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。スクリーンを交換するか本機のフォーカスを少しずらしてみてください。
映像(および音声)が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部機器との接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● 妨害電波を発信している機器から遠ざける。 ● 入力信号によっては、台形補正を行うと画像が正常に表示されない場合がありますが、故障ではありません。この場合は、台形補正量が少なくなるように再調整してご使用ください。
色合いがおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ● 信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定が正しく設定されているか確認する(23ページ参照)。 ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
コンピュータの動画部分だけが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータの問題です。コンピュータメーカーにお問い合わせください。
映像がにじむ	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータの出力解像度をプロジェクターの解像度に合わせる(34ページ参照)。 ● コンピュータの出力解像度の変更については、コンピュータメーカーにお問い合わせください。 ● 台形補正を使用すると、映像によっては画像や文字がにじんで見えることがあります。このような場合、台形補正を使用せずにお使いください。
色合いが異なる	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません ● テレビやパソコンのモニター等と比較した場合、色再現範囲の違い等により、色合いが異なる場合がありますが、故障ではありません。

その他

現象	確認/処置
排気口から温風が出る	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機内部を冷却して出てくる温風です。熱く感じるがありますが故障ではありません。
外部音声出力が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量設定が小さくなっていないか確認する。
メニュー設定ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● ノイズなどの影響で、本機内部のマイコンが誤動作していることがあります。→一度電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続する。
Ⓞマークが表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● 動作しない操作をおこなったときに表示されます。故障ではありません。
リモコンが効かない・効きにくい	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池が消耗していないか確認する(2、10ページ参照)。 ● リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの光が直接当たっていないか確認する(10ページ参照)。 ● リモコンの操作範囲から外れてませんか(10ページ参照)。
本体操作パネルのボタン(電源ボタンを除く)がはたらかない。	<ul style="list-style-type: none"> ● オプションメニューのパスワードロック機能が設定されています。→設定を解除する。
異音がる	<ul style="list-style-type: none"> ● カラーホイールが高速回転しているため、まれに金属音がるがありますが故障ではありません。

ランプ交換のあとで、以下の症状が出たときは、まず、次のことをお調べください。

現象	確認/処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 裏面のランプカバーをきちんと取り付ける。 ● ランプ使用時間をリセットする(29ページ参照)。
STATUSインジケータが点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプ使用時間をリセットする(29ページ参照)。

索引

ア行

アフターサービス	35
色合い	21、24
色温度	21、24
色の濃さ	21、24
オートパワーオフ	22
オートパワーオン	22
オプションメニュー	22

カ行

画質メニュー	21
乾電池を入れる	2
ガンマモード	21
言語選択	22
コントラスト	21、24
コンピュータとの接続	11

サ行

シャープネス	21、24
仕様	33
信号設定メニュー	23
接続	
コンピュータ	11
ビデオ機器	17
DVDプレーヤ	17
ハイビジョンデジタルチューナー	17
接続できる信号の種類	34
設置メニュー	22

タ行

台形補正	15
投写角度の調整	14、15
投写距離	13
ダイレクトパワーオフ	14、19

ハ行

パスワードロック	26
バックカラー	22
反転表示	22
ビデオ機器との接続	17
ピントの調整	13、18
付属品	2
ブライト	21、24
分周比	23、25
別売品	33

マ行

メニュー位置	22
メニュー設定のしかた	21

ラ行

ランプカバー	28
ランプの交換	28
ランプモード	22
リモコン受光部	10

A

AUTO POSITION ボタン	8、9、14
AV ミュート	16

C

COMPUTER IN 端子	8、11、17
COMPUTER ボタン	8、13

D

DVD プレーヤとの接続	17
--------------	----

E

ENTER ボタン	8、9、21
-----------	--------

K

KEYSTONE ボタン	8、9、15
--------------	--------

M

MENU ボタン	8、9、21
MONITOR OUT 端子	8、11
MUTE ボタン	9、16

P

POWER インジケータ	
	8、12、18、30、裏表紙

S

STATUS インジケータ	
	8、12、18、29、30、裏表紙
S-VIDEO 端子	8、17

V

VIDEO ボタン	8、18
VOLUME ボタン	9、14、17
VIDEO 端子	8、17

端子について

COMPUTER IN端子(ミニD-Sub 15ピン)

PIN No.	仕様	PIN No.	仕様
1	R(RED)/Pr/Cr	9	DDC 5V
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/Pb/Cb	11	-
4	-	12	DDC Data
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	DDC Clock
8	GND		

MONITOR OUT端子(ミニD-Sub 15ピン)

PIN No.	仕様	PIN No.	仕様
1	R(RED)/Pr/Cr	9	-
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/Pb/Cb	11	GND
4	-	12	-
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	-
8	GND		

SERIAL(RS232C) 端子(D-SUB 9ピン)

PIN No.	名称	I/O
1	-	-
2	TXD	入力
3	RXD	出力
4	-	-
5	GND	-
6	-	-
7	-	-
8	-	-
9	-	-

※ コンピュータで本機を制御するときに使用します。
シリアルケーブルはクロスタイプのものご使用
ください。
くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンター
にご相談ください。

仕様

(仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。予めご了承ください。)

形式		LVP-SD206	
表示方式		DLPT™(単板DMD)	
光学方式		時分割色分離・合成方式	
表示素子	サイズ	0.55形DMD×1(枚)、アスペクト比4:3	
	画素数	480,000画素(800×600)×1枚	
投写レンズ	焦点距離	f=19.9~21.4mm	
	F値	F2.5(ワイド)	
光源		高圧水銀ランプ 205W	
画面サイズ(投写距離)		40形~300形(ワイド端のみ)、1.3~9.6m	
再現色数		1,677万色(フルカラー)	
音声出力		2W、モノラル	
スピーカ		口径φ2.5cm、個数1	
表示可能解像度	コンピュータ信号入力時	最大入力解像度	1280×1024ドット(圧縮表示)
	ビデオ信号入力時	パネル表示解	800×600ドット
		表示可能信号: NTSC、4.43NTSC、PAL、SECAM、PAL-N、PAL-M、PAL-60 NTSC水平解像度: 500TV本(S端子入力時)	
コンピュータ入出力	コンピュータ入力	映像入力	ミニD-Sub15ピン(RGBまたはY/Pb/PrまたはY/Cb/Cr信号対応)、1系統 <ul style="list-style-type: none"> ・ RGB: 0.7Vp-p 75Ω/1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) ・ Y: 1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) ・ PbPr/CbCr: 0.7Vp-p 75Ω ・ HD/GS: TTLレベル(負または正極性) ・ VD: TTLレベル(負または正極性)
		音声入力	φ3.5mmステレオミニジャック、1系統 <ul style="list-style-type: none"> ・ 350mVrms 1kΩ以上(ビデオ入力と共有)
	コンピュータ出力	映像出力	ミニD-Sub15ピン(RGB/YPbPr/YCbCr出力)、1系統 <ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータ入力と同一の信号形式で出力
		音声出力	φ3.5mmステレオミニジャック、1系統(ビデオ出力と共有)
ビデオ入出力	ビデオ入力	映像入力	RCA端子、1系統 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) S端子、1系統 <ul style="list-style-type: none"> ・ Y: 1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) ・ C: 0.286Vp-p 75Ω(バースト信号)
		音声入力	φ3.5mmステレオミニジャック、1系統 <ul style="list-style-type: none"> ・ 350mVrms 1kΩ以上(コンピュータ入力と共有)
	ビデオ出力	音声出力	φ3.5mmステレオミニジャック、1系統(コンピュータ出力と共有)
制御入出力/その他		SERIAL(RS232C)端子(D-Sub 9ピン): 1系統(プロジェクター本体制御用) USB端子(Bタイプ): 1系統(ページアップ・ダウン用)	
使用温度(使用湿度)		使用温度範囲: 5~35℃(使用湿度範囲: 30~90%)	
電源		AC100V、50/60Hz	
消費電力		2.9A 280W	
外形寸法		W(幅)256mm×H(高さ)102mm×D(奥行き)223mm	
質量		2.9kg	

「JIS C 61000-3-2 適合品」

: JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部: 限度値-高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

別売品

スクリーン	(形名 SCR-A50P) (形名 SCR-A60P) (形名 SCR-A80P)
光源ランプ	LVP-SD206 (形名 VLT-XD206LP)

その他

仕様索引

仕様(つづき)

接続できる信号の種類

信号表示	解像度 (H × V)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	解像度 (H × V)
TV60,480i	—	15.73	59.94	1024 × 768
TV50,576i	—	15.63	50.00	1024 × 768
1080i 60(1080i)	—	33.75	60.00	1024 × 576
1080i 50(1080i)	—	28.13	50.00	1024 × 576
480P	—	31.47	59.94	1024 × 768
576P	—	31.25	50.00	1024 × 768
720P 60 (720P)	—	45.00	60.00	1024 × 576
720P 50 (720P)	—	37.50	50.00	1024 × 576
PC98 (VGA56)	640 × 400	24.82	56.42	1024 × 640
CGA84 (VGA85)	640 × 400	37.86	84.13	1024 × 640
CGA85 (VGA85)	640 × 400	37.86	85.08	1024 × 640
VGA60	640 × 480	31.47	59.94	1024 × 768
VGA72	640 × 480	37.86	72.81	1024 × 768
VGA75	640 × 480	37.50	75.00	1024 × 768
VGA85	640 × 480	43.27	85.01	1024 × 768
SVGA56	800 × 600	35.16	56.25	1024 × 768
SVGA60	800 × 600	37.88	60.32	1024 × 768
SVGA72	800 × 600	48.08	72.19	1024 × 768
SVGA75	800 × 600	46.88	75.00	1024 × 768
SVGA85	800 × 600	53.67	85.06	1024 × 768
XGA60	1024 × 768	48.36	60.00	1024 × 768
XGA70	1024 × 768	56.48	70.07	1024 × 768
XGA75	1024 × 768	60.02	75.03	1024 × 768
XGA85	1024 × 768	68.68	85.00	1024 × 768
SXGA70a (SXGA70)	1152 × 864	63.85	70.01	1024 × 768
SXGA75a (SXGA75)	1152 × 864	67.50	75.00	1024 × 768
SXGA60b (SXGA60)	1280 × 960	60.00	60.00	1024 × 768
SXGA60	1280 × 1024	63.98	60.02	960 × 768
MAC13 (VGA67)	640 × 480	35.00	66.67	1024 × 768
MAC16 (SVGA75)	832 × 624	49.72	74.55	1024 × 768
MAC19 (XGA75)	1024 × 768	60.24	75.02	1016 × 768
MAC21 (SXGA)	1152 × 870	68.59	74.96	1024 × 768
HP75 (XGA75)	1024 × 768	62.94	74.92	1024 × 768
SUN66a (SXGA66)	1152 × 900	61.85	66.00	984 × 768
SUN76a (SXGA76)	1152 × 900	71.81	76.64	984 × 768

- 本機の最大解像度は800×600ドットです。これ以上の解像度の場合は、本来の解像度は得られません。
- SYNC ON G対応の信号は、映像が緑っぽくなる場合があります。
- SYNC ON G対応の信号は、画面が少し揺れる場合があります。信号設定メニューのファインを調整してください。
- 表に載っていない解像度と周波数のときは接続するコンピュータの解像度を変更することにより、対応できる解像度と周波数に変更できる場合があります。
- 1080iはハイビジョン信号を表します。
- ハイビジョン信号などをRGB信号で入力するときは信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定をRGBにしてください。
- ハイビジョン信号を表示しているとき、インターレス信号の構造上、画質が劣化します。
- 480i, 576i, 480p, 576pの5線(R, G, B, H, V)および4線(R, G, B, CS)出力機器について本機は対応していません。
- TV60とTV50はそれぞれ480iと576iと等価です。VIDEO端子あるいはS-VIDEO端子から入力された場合信号表示はTV60あるいはTV50となります。コンポーネント端子から入力された場合、表示は480iあるいは576iとなります。
- MONITOR OUT端子はSYNC ON G信号に対応していません。
- 3線出力機器については、コンポーネント信号のみ対応しています。
- 480iと576iはコンポーネント信号として表示されています(RGB信号については対応していません)。

保証とアフターサービス

■保証書(別添付)

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間
お買上げ日から1年間です
但し、光源ランプは1年以内で500時間まで

- ランプ使用時間の確認方法
スタンバイ状態で、▲、▼ボタンを押しながら、電源ボタン(⏻)を押したとき、STATUSインジケーターが約5秒間、緑色に点灯すれば、ランプ使用時間は500時間以内です(ランプ使用中は点灯しません)。
- 光源ランプを交換されるときは
光源ランプは専用のVLT-XD206LPをご使用ください。他のランプをご使用された場合、製品の保証を受けられないことがあります。

■補修用性能部品の最低保有期間

- 当社は、データプロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- DMD、カラーホイールなどの光学部品、および冷却ファンは寿命部品です。長時間業務用途に使う場合は修理・交換が必要になります。このような場合は三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- 三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

■修理を依頼されるときは

- ◎ 「故障かなと思ったら」の手順にしたがって、お調べください。
- なお、不具合があるときは、電源を切ったあと、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。
- ◎ 保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、三菱電機テクニカルサポートセンターが修理させていただきます。
- ◎ 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
- ◎ 修理料金は
技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

◎ ご連絡いただきたい内容

1. 品名 三菱データプロジェクター
2. 形名 LVP-SD206
3. お買上げ日 年 月 日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご住所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

三菱電機
テクニカルサポートセンターのご案内

テクニカルサポートセンター

修理、取り扱いのご相談、技術的なお問合わせは
全国どこからでもおかけいただける
三菱電機テクニカルサポートセンター

☎0120-32-7440 (無料)

Tel:075-353-0654

(携帯電話、PHSでお問い合わせの場合)

■受付時間 平日・土日・祝日(弊社指定休日除く)
午前 9:00~12:00/午後 1:00~9:00

FAX 075-353-0685

E-mail pep-m@fuso.co.jp

この製品に関する詳細情報や応用例などを、WWWサイトでもご提供しています。

www.mitsubishielectric.co.jp/projector/business

ご相談窓口

当社家電品の購入・取扱い方法・その他ご不明な点は
三菱電機お客さま相談センター

受付時間
365日
24時間

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

■ 全国どこからでもおかけいただけるフリーコール

☎0120-139-365 (無料)
いつもサンキュー 365日

■ 通常電話番号(携帯電話対応) 03-3414-9655

■ FAX番号 03-3413-4049

■ ご相談対応 平 日 9:00~19:00
土・日・祝 9:00~17:00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

● 所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

■ お問合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合わせいただきました窓口にご連絡ください。

その他

保証とアフターサービス
仕様

インジケータの見かた

本機には、内部の状態を知らせるインジケータが2つあります。インジケータの光りかたで、どのような状態かを知ることができます。次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

正常時

POWER	STATUS	状態	備考
赤点灯	消灯	電源スタンバイ状態	
赤点減	消灯	電源「入」状態へ移行中（約4秒間）	
緑点灯	緑点灯	電源「入」状態	
緑点灯	緑点減	・クーリング中（約90秒間） ・ランプスタンバイ状態（約60秒間）	

異常時

POWER	STATUS	状態	処置
消灯	緑点減	ランプの異常	● STATUSインジケータの緑点減が消えてから電源ボタンを押す。上記の操作を数回おこなっても、光源ランプが点灯しないときは、光源ランプを交換し、ランプ使用時間をリセットください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターへご依頼ください。
緑点灯	オレンジ点灯	カラーホイールの異常	● お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。
緑点減	緑点灯	ファンの異常	● 埃やゴミでファンが詰まってないかどうかを確認し、詰まっていた場合はきれいにする。 ● 上記の処置を行っても正常にならない場合は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。
緑点灯	赤点灯	温度異常	● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。 ● 温度が低い場所に本体を設置し直す。 ● 電源を直接切り、次に電源を入れた場合、まず本体内部の温度チェックを行います。温度が高い場合は、90秒間の冷却動作に入ります。
消灯	赤点灯	ランプが寿命に達した状態	● ランプを交換し、ランプ使用時間をリセットする。
N/A	N/A	ランプカバーが開いている状態	● 裏面のランプカバーを閉じる。
緑点灯	赤点減	ランプ寿命の95%に達した状態	● ランプを交換し、ランプ使用時間をリセットする。

- ご購入店などをメモしておきますとあとで役に立ちます。

購入年月日

購入店名（住所）

電話番号

このデータプロジェクターの形名はLVP-SD206です。

愛情点検

- 長年ご使用の場合は点検をぜひ /

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源スイッチを入れても映像がでない。
- 映像が乱れたり、画面が異常にかけたりする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用
中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

データプロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

